

やすらぎ加賀通信

第123号 2018/9/26 ブログ更新中 見てね!



皆さん、2学期が始まりひと月近くが経ちますが、元気にお過ごしでしょうか？

昨年も観測史上初の暑さなどと騒がれていましたが、その記録もあっさりと塗り替えられてしまった今年の酷暑でした。やすらぎ加賀教室には引越したばかりで冷房設備が整わず、まさに暑さで息苦しい毎日でした。

過ごしやすいですが、長く、いろいろな行事の多い2学期です。少しでも心配なことなどあったら、遠慮せず相談室の先生などに声をかけて下さいね。皆さんが元気で充実した生活を送れるよう、お手伝いしたいと思っています。



SV 土田先生 (心理カウンセラー) の相談日

10月5日・19日・26日

11月9日・16日・30日 の金曜日

時間：9:30～11:30

場所：やすらぎ加賀教室

※相談ご希望の方は予約をお願いします。



相談状況 (9月は24日現在の集計)

| | 来室相談 | 訪問相談 | 電話相談 | 合計 | 通室生徒 |
|----|------|------|------|----|------|
| 7月 | 4 | 11 | 2 | 17 | 1 |
| 8月 | 3 | 7 | 0 | 10 | 1 |
| 9月 | 4 | 7 | 3 | 14 | 1 |

第2回 事例検討会

9月14日(金) 15:30～16:50 加賀市教育総合支援センター

今年度第2回の検討会は、講師にファミリーステーションいなみえん心理主任の浅田伸史さんを迎え、加賀市内の小・中・高・特別支援学校、関係諸機関等から20名の参加をいただき開催されました。

まず自己紹介や簡単な情報交換を行い、その後PCAGIP法による事例検討を行いました。PCAGIP法が初めての方もすぐに慣れ、運営もスムーズに進めることができました。参加された皆さんも積極的に、活発な検討会になりました。

今回は高校1年生の男子生徒で、学校には休まずに登校できているが授業になかなか出れず、保健室で過ごすことが多くなり、このままでは進級が危ぶまれるという事例でした。

授業に出ると頭痛や発汗が起こりいつもしんどいと訴えます。集団の中で疎外感があり自分から話せない、今の状況から将来を描くことができないとも訴えています。家庭でも気が休まらず部屋に閉じこもってしまう、高圧的な父や兄とは会わないようにし、母親や姉とは仲が良いとのことでした。彼の状況について、質問とその回答を聞きながら、皆さん多くのアイデアに気づくことができた様です。

支援のアイデアについては、

- 自分の状況を把握できているのは強みであるから、服薬や出欠のコントロールをやってゆく。
- 家族、特に父や兄に本人の状況を理解してもらう必要がある。
- 自己肯定感や有用感を高めるため、学校での頑張りや友人との関わり、教師からの評価など、今出来ていることを認めてあげることが必要。



- ・家の近くで、気の合う姉とアパートで二人暮らしをすると良い。
- ・生活リズムの改善のために動物を飼ったり、体調日記をつけると良い。

最後に浅田先生からは、自身が評価されることへの理解を深めること、体験の言語化に取り組みさせることや、実現可能性の少ないことでも拘らずに提案してゆくことが大切である、との講評を頂きました。

参加された皆さん、ありがとうございました。

7・8・9月の活動

☆あらたに女子生徒1名が通室を始めました
教室では、数学の学習などに取り組んでいます。
とても熱心に頑張っています！！

☆やすらぎ菜園

酷暑の下でも、野菜や草花は元気に育ち
収穫も沢山ありました。



フェンス一面に朝顔が咲き誇っています



甘くておいしい小玉スイカ、まだまだ収穫できます！



旺盛に茂るサツマイモ



落花生も収穫が楽しみ



8月には全く緑が無くなった株も見事に復活！

ご案内！

加賀フレンドシップ事業（11月～1月、金沢大学学生派遣）を、今年度も計画しています。
希望される場合は、やすらぎ加賀教室までご連絡下さい。

昨年度は、大聖寺高校・山代中学校・山代小学校・片山津小学校・のぞみ教室の各所に6名の学生を派遣しました。先生やカウンセラーの方とは異なる、年代の近い大学生との触れ合いを通じて、児童生徒のみなさんにとって新たな世界が広がることと思います。

